

地域がん診療連携拠点病院緩和ケア委員会

Plan 計画

- 1 コロナ収束後も地域の医療者間のコミュニケーション不足のため、在宅移行の遅れや地域での緩和ケアにおける情報の偏在が生じている。
- 2 意思決定支援のための院内ガイドラインが定められ、アドバンスドケアプランを積極的に行うことが推奨されている。

上記について各種職種間の積極的な情報共有・発信を通じ、連携強化と新規対策で改善を図る。

Do 実行

- 1-1 退院前カンファレンス(対面, オンライン)の毎月の実施状況, 意見交換, 情報発信
- 1-2 区西北部のがん拠点病院や在宅医, 訪問看護とのオンライン勉強会の相互参加
- 2 重要な病状説明があった後などに, 緩和チームと病棟が連携して患者や家族の意向を共有するカンファレンスを行う

Action 改善

- ・情報の均てん化
 - ・地域の医療者どうしの関わる頻度の増加
 - ・退院前カンファレンスの実施件数の増加
 - ・在宅を希望する患者の不安軽減
 - ・コミュニケーション不足による不満の解消
- ・院内の指針にもとづいた、多職種での意思決定支援
 - ・患者・家族等の意思を尊重した医療の実践

Check 評価

- 委員会での評価と情報共有, 情報発信
- 1-1 対面やオンライン会議での退院前カンファレンスの具体的例と抽出された問題点の共有
 - 1-2 当院勉強会への地域からの参加者の人数、各月の委員会メンバーの参加した会での情報の共有
 - 2 患者家族の意向を共有するカンファレンスを実施した際の、スタッフの知識や意識の変化を把握。アンケート等。